

## 第1回「クマはなぜ町に出没するのか -クマの生態と共存への道-

近年、日本各地でクマの出没による事故や農林業被害が増え、社会問題となっています。本講演会では、ツキノワグマの生態を長年研究されている専門家をお招きし、研究の最前線からクマの生態や保全、被害などの問題を学び、クマとどのように関わるべきか、野生動物との共存について考えます。

■日時  
2025年2月1日(土) 14:00~16:00 (受付 13:30~)

■会場  
江東区教育センター1階大研修室 または オンライン(Zoom)

■募集  
小学5年生以上、会場60人、オンライン60人  
※会場で参加の小学生は要保護者同伴  
保護者1名につき子どもは2名まで可

■参加費：無料



講師：小池 伸介 氏

東京農工大学大学院教授。日本クマネットワーク代表。専門は生態学。森林生態系の生き物同士の関わり合いを研究。主な著書は『クマが樹に登ると』(東海大学出版会)、『わたしのクマ研究』(さ・え・ら書房)、『ツキノワグマのすべて』(文一総合出版)、『ある日、森の中でクマさんのウンコに出会ったら』(辰巳出版)など。

## 第2回「外来種問題を考える：カエルやトカゲの事例を中心に」

私たちの身の回りには人によって持ち込まれた外来種があふれ、生態系や私たちの生活に様々な影響を与えています。本講演会では、外来生物法や外来種対策の策定・作成などに携わっている専門家をお招きし、身近な外来種問題を通じて地域の自然環境の大切さを学び、私たちにできることを考えます。

■日時  
2025年2月15日(土) 14:00~16:00 (受付 13:30~)

■会場  
江東区文化センター第1・2研修室 または オンライン(Zoom)

■募集  
小学5年生以上、会場60人、オンライン60人  
※会場で参加の小学生は要保護者同伴  
保護者1名につき子どもは2名まで可

■参加費：無料



講師：戸田 光彦 氏

(一財)自然環境研究センター研究主幹。金沢大学自然科学研究所博士課程単位取得中退。博士(理学)。専門は動物生態学、爬虫両生類学。職場では外来生物対策に関連した業務などを担当。共著書に「最新・日本の外来生物」(平凡社)などがある。日本爬虫両生類学会運営委員・和文誌編集委員。

【申込方法】区ホームページまたはハガキ等に①講演会名、②氏名(小学生の場合は保護者の氏名も)、③住所、④電話番号、⑤年齢(小学生の場合は学年・学校名も)を記入し、環境学習情報館えこくる江東(〒135-0052 江東区潮見1-29-7)へ郵送または窓口で  
※オンライン参加は区ホームページの申込みフォームのみ

【募集期間】2025年1月11日~2025年1月20日  
(期間内に定員に達しない場合は追加募集いたします)

【問い合わせ】電話【えこくる江東】03-3644-7130

※オンライン参加に関するお問い合わせは、  
NPO法人ネイチャーリーダー江東(info@nlkoto.org)まで

第1回



第2回



申込みフォーム QR コード  
1月11日(土) 受付開始